

平成28年度食品健康影響評価技術研究の追加公募課題について

平成28年度食品健康影響評価技術研究として、以下の課題について追加公募を行う。

○公募課題：発生毒性試験における骨格変異等に関するデータの収集・解析及びリスク評価における毒性学的意義に関する研究

【研究の概要】

科学的かつ効率的なリスク評価の実現に向けて、発生毒性試験における過剰肋骨等の骨格変異に関するデータを収集・解析することを通じて、胎児の形態変異の毒性学的意義を明らかにすることを目的とする。

具体的には、発生毒性試験における胎児観察データを収集・解析し、胎児観察における形態異常又は変異所見の分類を行うとともに、必要に応じて動物実験等を通じて骨格変異の発現機序について検討する。これらにより、骨格変異等のリスク評価における毒性学的意義を明らかにする。

【研究の背景】

発生毒性試験において観察される、過剰肋骨をはじめとする変異所見は、生存や健康に悪影響を及ぼさないものとされ、リスク評価においては、その発現率の増加が無毒性量を判断する根拠とされないことがある。しかし、ヒトでは骨格変異による臨床症状が観察されることもあることから、その毒性学的意義を明らかにすることはリスク評価において極めて重要である。